

令和2年度 与論町海洋教育推進グランドデザイン

「誠」の教育（与論の教育の根幹）

祖先の遺訓である誠を「島に誇りを持ち、誠実で利他の心があり、真理や理想を追求する精神」であると捉え、夢や希望を持ち、粘り強く学び、変化の激しい社会で困難を乗り越えて積極果敢にたくましく生きる人間の育成を目指す教育

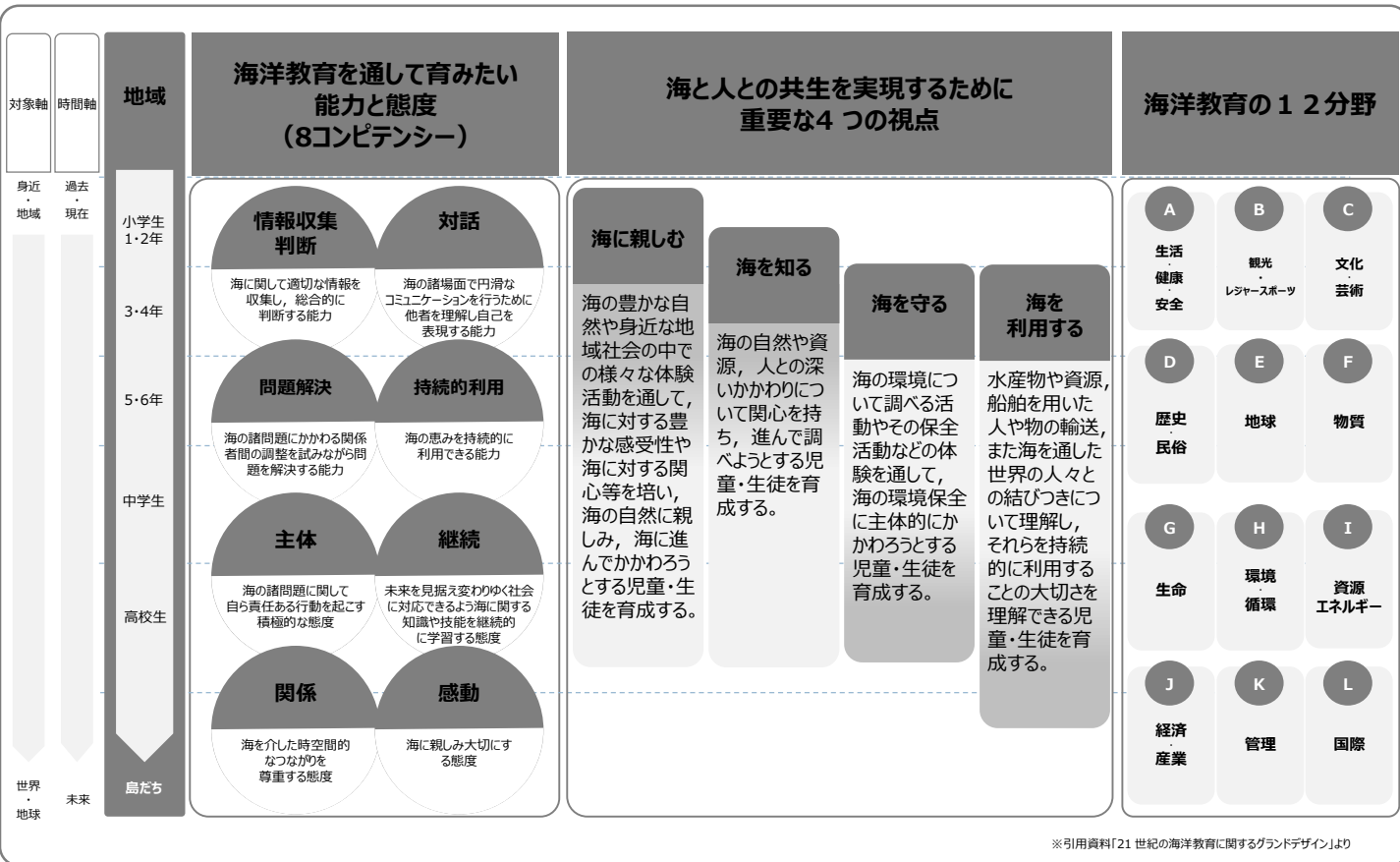
学校教育行政・社会教育行政の重点施策との関わり

豊かな心と健やかな体を育む教育	社会の変化に対応できる力を育む教育	信頼される学校づくり	地域全体で子どもを守り育てる環境づくり	生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化の振興
<ol style="list-style-type: none"> 1. 道徳教育の充実 2. 生徒指導の充実 3. 人権同和教育の充実 4. 体験活動の充実 5. 子ども読書活動の推進 6. 文化活動の推進 7. 食育の推進 8. 体力・運動能力の向上 9. 健康・安全教育の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな学力の定着 2. 特別支援教育の推進 3. キャリア教育・進路指導の推進 4. 郷土・伝統文化教育の推進 5. 海洋教育の充実 6. 幼児教育の充実 7. 社会の変化に対応した教育の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開かれた学校づくりの推進 2. 学校運営の充実 3. 教職員資質の向上 4. 安全・安心な学校づくり 5. 教育環境の整備・充実 6. 特色ある学校づくりの推進 7. 与論高等学校との連携の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域ぐるみでの子どもの育成 2. 家庭及び地域の教育力の向上 3. 家庭教育支援の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯学習の推進 2. 生涯スポーツの推進 3. スポーツアイランド構想の推進 4. 文化芸術活動の推進 5. 文化財の保存・活用



海洋教育を通じた人材育成

海に囲まれた与論島にとって、海との共生は重要な課題である。海洋教育を通して、与論の「歴史・文化」「人と海との関わり」「これからのあり方」を、課題の発見および解決を念頭において主体的・協働的に学習し、地域と世界の未来を創造していく人材の育成を目指す。



※引用資料「21世紀の海洋教育に関するグランドデザイン」より



各校によるカリキュラム作成

海洋教育を通じた人材育成

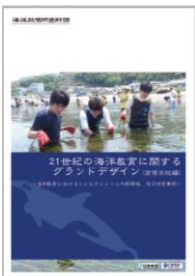
海に囲まれた与論島にとって、海との共生は重要な課題である。海洋教育を通して、与論の「歴史・文化」「人と海との関わり」「これからのあり方」を、課題の発見および解決を念頭において主体的・協働的に学習し、地域と世界の未来を創造していく人材の育成を目指す。

対象軸	時間軸	地域	目指す姿	アウトプット
身近地域 過去 現在	過去 現在	小学生 1・2年	<小学校卒業時まで> ・与論の海の素晴らしさと問題点、環境保全などに関する社会活動の重要性について知り、学んだことや行動した内容を、自分なりの言葉で地域や他校に向けて発信し交流することができる。	<発表の具体例> ・学習発表会で発表する ・地域の行事で発表する ・地域で配布されるポスターを作る ・WEBサイトで発信する ・新聞で取材される ・メディアで発表する
		3・4年		
		5・6年	<中学校卒業時まで> ・国内外の海や、海洋事情についての知識を深め、与論と比較・分析することで、課題設定を行う。また、課題解決に向け計画・立案・実行し、結果を誰に、どのように伝えたいかを考え発信し、評価を受けることができる。	<評価を受ける具体例> ・関係する団体や会議に、提案する ・海洋教育こどもサミットに参加する
		中学生		
世界 地球	未来	高校生	<高校卒業時まで> ・海洋に関する広範な知識をもとに、地域内・外の人と連携しながら、課題解決のため計画・立案・実行する。その過程で、社会評価を受け、改善や再考することを通し、自己の学びを深めることができる。	<まなびの具体例> ・課題解決につながる、商品企画・販売しイベントを企画し他の団体と協働しプロジェクトを起こし
		島だち	<高校卒業後～> ・海洋に関する知識と、自己の専門性を活用し自身と地域のために行動することができる。	成果報告する

参考資料

「21世紀の海洋教育に関するグランドデザイン
～海洋教育に関するカリキュラムと単元計画～」

海洋教育を通して育みたい能力と態度
(8コンピテンシー)



海洋政策研究財団

8コンピテンシー		
【情報収集・判断】	海に関して適切な情報を収集し、総合的に判断する能力	様々な事象が複雑に関係している海の諸事象や諸問題に関して、複数のリソースから必要な情報を適切に取得し、幅広く鳥瞰的な視野で客観的・多面的・総合的に分析し、人・社会・自然等の相互関連性や広がりを理解し、論理的・合理的かつ公平に判断する能力。
【対話】	海の諸場面で円滑なコミュニケーションを行うために他者を理解し自己を表現する能力	様々な主体が会する海の諸場面において、他者の考えを理解・尊重しながら自らの知識や考え方を他者に分かりやすく説明・表現し、積極的に他者とのつながりを拡充することができる能力。
【問題解決】	海の諸問題にかかわる関係者間の調整を試みながら問題を解決する能力	様々な主体が関係する海の諸問題に関して、他者の立場や考え方を理解・尊重しつつ、自らの考えで平和的な対応策を見出し、実行する能力。
【持続的利用】	海の恵みを持続的に利用できる能力	生物資源や鉱物資源、美しい景観や自然体験等の海の恵みを、将来世代の利益を失うことなく、現代社会の発展のために利用できる能力。
【感動】	海に親しみ大切にできる態度	自らの積極的に海に接することで、海に親しみ、海の壮大さや海の恵みを感じ、海を大切に思う態度。
【関係】	海を介した時空間的なつながりを尊重する態度	自分と身近な個人・団体のみならず、海を介した世界とのつながりを理解し、国際的な視点で思考する態度。海の歴史や文化を学び、将来世代にわたる海と人類の共生を実現するために、自らの行動と様々な事象を関連付けようとする態度。
【主体】	海の諸問題に関して自ら責任ある行動を起こす積極的な態度	自らの行動と事柄のつながりを理解し、その行動に責任をもち、リーダーシップを発揮し、海の利用、管理、保全にかかわる積極的な行動を起こそうとする態度。そのために様々な物事に好奇心をもって、忍耐強く、継続的に挑戦する態度。
【継続】	未来を見据え変わりゆく社会に対応できるよう海に関する知識や技能を継続的に学習する態度	自分や他者、社会の未来を想像し、海に関する様々な知識や技能、及び海洋で営まれている様々な経済活動や職業についての情報を自主的かつ継続的に取得しようとする態度と実行力。